

平成19年（第1回）みどりの学術賞 受賞者

すぎ うら まさ ひろ
(1) 杉 浦 昌 弘 (70) 名古屋大学名誉教授

専門分野：分子生物学

選考理由：「みどり」の根源である葉緑体のDNAの同定及び葉緑体の起源（共生起源）の実証を行い、葉緑体の正体の解明及びその新しい活用の基礎を確立。その成果は、植物性医薬品、地球温暖化対策等の先駆的な技術開発にも応用され、発展。

あさ の (なかしずか) とおる
(2) 浅 野 (中静) 透 (51) 東北大学大学院生命科学研究科教授

専門分野：森林生態学

選考理由：生きている「みどり」である森林の保全について、生態学的な観点のみならず、景観、林業経営といった人文社会学的な観点を加味して多面的にとらえた研究成果を活かし、長期的な森林の保全のあり方を社会に提言する等、森林の保全の国民的理解の増進に貢献。

注) 浅野透は戸籍上の氏名。中静は旧姓。論文、著書等通常は中静透を使用。